

## ホタテガイ活貝新梱包技術 (OXY元気!) の紹介 ～生きたまま全国発送 活力維持は4日間～

ほたて貝部 主任研究員 山内 弘子

青森県産のホタテガイは、生産量の90%以上が加工用原料となっており、生鮮向けは数%しかありません。最近では生産者価格が不安定で、漁家経営の見通しを立てることが難しくなっているため、活貝の供給を促進することによって価格の向上と安定化を図ることを目的に、活力を維持できる新しい梱包方法として酸素充填の技術を開発したので紹介します。

### 新技術開発試験

平成16年6月にホタテガイ2年貝を発泡スチロール箱に入れて酸素を充填せずに従前方法で梱包したものと、酸素を充填したものを冷蔵庫に保存し、1日後、3日後、5日後、7日後に開封して、ホタテガイの活力を「殻を閉じる(閉殻)個体」、「外套膜(通称ヒモ)のみが動く個体」、「へい死した(無反応)個体」の3段階に分けて観察しました。

その結果、従前梱包で閉殻する個体は、1日後に55%

ありましたが、3日後には40%に減り、5日後には全く見られなくなりました。それに対してへい死個体は3日後に10%、5日後には85%と増加しました(図1)。

一方、酸素を充填したものでは3日後まで全てが閉殻し、5日後にもへい死した個体は見られず(図2)、酸素を充填すれば5日間は活力を維

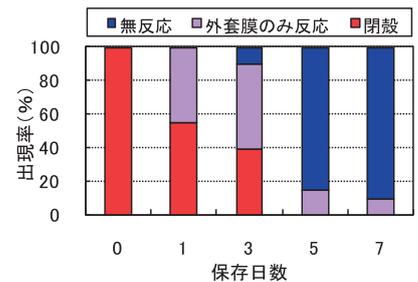


図1 酸素を充填しない(従前)梱包で保存したホタテガイの活力

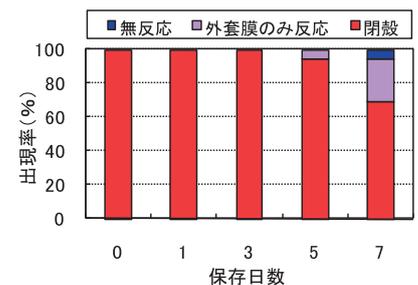


図2 酸素を充填して保存したホタテガイの活力

持できると考えられました。

ところが、平成19年2月の産卵直前に同じ試験を行ったところ、酸素を充填したにもかかわらず、5日後にはへい死個体は見られないものの閉殻個体が40%と少なく、ほとんどの

個体の活力を維持することが難しい時期があることがわかりました(図3)。そこで、同年3月上旬にかけて

同じ試験を何回か行ったところ、3日までは100%、4日までであれば70%と多くの個体が閉殻し、活力を維持したままで保存できることがわかりました(図4)。

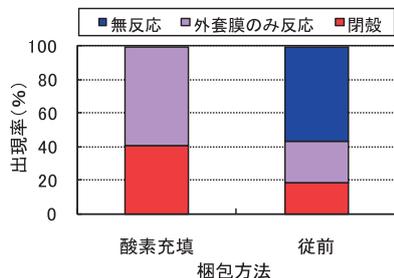


図3 酸素充填と従前梱包して保存し、5日後に開封したホタテガイの活力

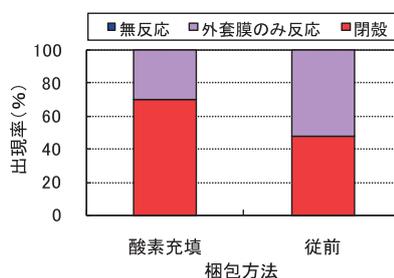


図4 酸素充填と従前梱包して保存し、4日後に開封したホタテガイの活力

### 技術の活用

このため、周年確実に活力維持を保証できる期間を4日間に設定し、県漁連や一部漁協で試験的に酸素充填技術を活用してもらいました。

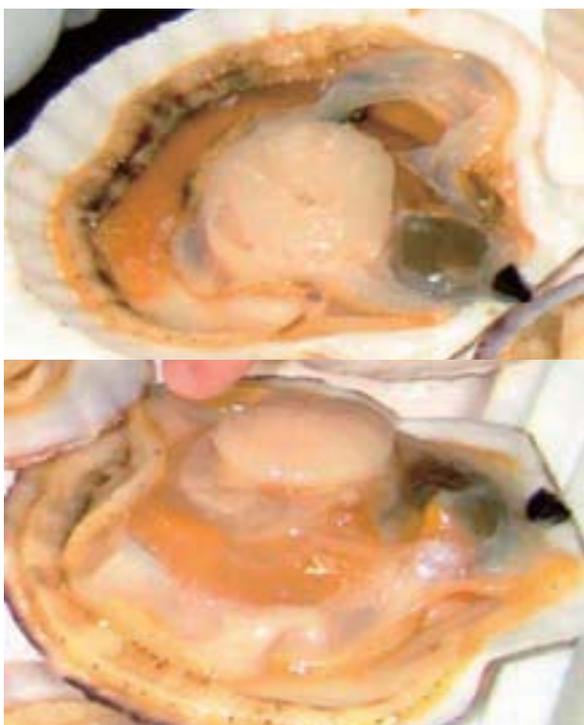


写真1 上は従前法、下は酸素充填法で梱包した貝。酸素充填した貝は、みずみずしく、貝柱や外套膜が盛り上がっている。

酸素充填技術を活用して梱包したホタテガイは、4日間、活力は言うまでもなく、みずみずしさも保たれていました(写真1)。このようなことから、配送に2日以上かかる遠隔地でも好評を博し、リピーターも増え、発送数量も増加しているとのことでした。さらに、当所では新技術を活用したホタテガイ活貝があおもりブランドとして一躍を担えるように「OXY元氣!」のロゴマークを作成したことから、活貝を酸素充填して梱包する際にはロゴマークの入った専用容器(写真2)を使えるようになりました。



写真2 OXY元氣!専用容器

### 技術講習会

平成20年3月に、この酸素充填技術をマスコミに公表したところ、大きな反響を呼び、技術導入の間合せが多く寄せられました。本技術は青森県産活ホタテガイのブランド化を図るために開発したものであり、県内では活ホタテを取り扱う業者がたくさんあるため、広く使ってもらえるように県総合販売戦略課が主催して技術講習会を行うこととなりました。

しかし、県産ホタテガイをブランド化することを目標にして技術を開発したので、1人でも粗悪なホタテガイを発送した場合、「OXY元氣!」というブランド名に傷がつくことが考えられます。そこで、OXY元氣!技術を使用する際には県に届出をすること、必ず技術講習会を受けて正しい技術を身につけることを条件としました。

また、①青森県内に住所があること、②青森県産のホタテガイを取り扱うこと、③7枚/kg以内の大型貝を用いること、④活力が弱った貝を入れて酸素を充填しても活力が良くなる技術ではないので、活力が良い貝を取り扱えるように水槽が設置されていること、⑤専用容器を使うことなどの出荷基準を定め、それに反する行為や技術のイメージを損なう販売をした場合は技術活用の停止を行い、OXY元氣!専用容器を活用で

きないこととする、というような厳しい基準を設けました。

第1回の技術講習会は7月25日に、第2回は10月27日に開催されましたが、受講者が数多く集まり、多くの方々が技術を使用できるようになりました(写真3)。

今後も要望があれば随時講習会を開催しますので、「私もこの技術を使いたい」と思われる方は、総合販売戦略課 宣伝・販売グループ(TEL017-734-9607)にお問い合わせください。



写真3 OXY 元気！技術講習会